

本県教育を取り巻く社会経済状況（主なもの）

- 人口減少の加速化 ○気候変動と自然災害
- グローバル化の進展と国際環境の複雑化
- VUCAの時代（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）
- 共生社会・社会的包摂 ○Society5.0の到来

第6次山形県教育振興計画期間の現状（主なもの）

- 探究型学習の拡大・浸透 ○併設型中高一貫教育校の設立
- 自分には良いところがあると思う児童生徒の割合が高い
- 運動時間数の減少 ○不登校児童生徒の増加
- 教員志願倍率の低下 ○授業でのICT利用頻度が低い

今後を見据えた課題（主なもの）

- 予測困難な時代を生き抜くための変化に対応できる力の育成
- 多様な個人を尊重し、包摂社会に寄与する態度・姿勢の育成
- DXや少子化、地域との連携等、様々な変化に対応した学びの環境整備

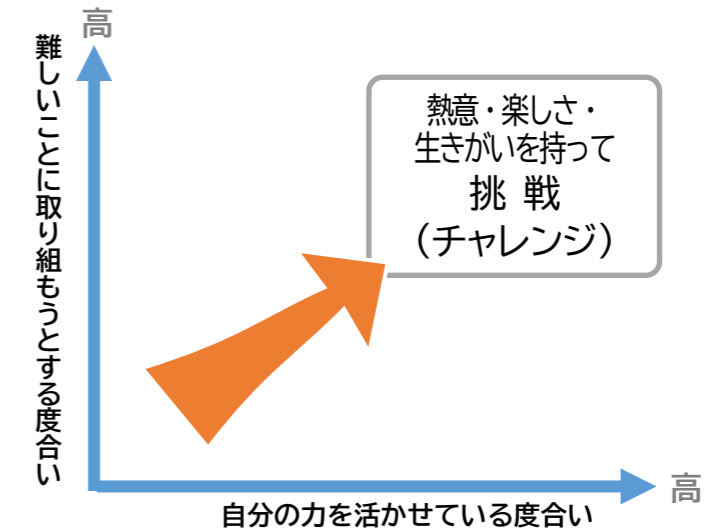
【目標】 ウェルビーイング※を目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり

※ 身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず将来にわたる持続的な幸福を含むとともに、個人だけでなく、地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。

【ウェルビーイングを目指すためには】

個人の幸せだけでなく、社会が幸せを感じられるよう、県民皆が自分の力を活かしながら、前向きに取り組んでいることが重要

→ **「挑戦」(チャレンジ)** していることが重要



【目指す社会】

◎ 異なる立場や考え、価値観を持った人々が豊かに生き生きと暮らす中で、

- 子どもは、学校の中だけでなく、社会の中で交流し、ワクワク感（意欲、興味、関心）を持って自ら選択し学び合っている
- 大人・家庭は、互いを尊重する姿を見せ、子どもの試行錯誤を見守り、挑戦できる環境をつくっている
- 地域等は、一人ひとりの違いや個性を認め、それぞれに応じた多様な学びの場や安全・安心な環境を提供している

【県民の皆様へ（メッセージ）】

ウェルビーイングを目指して、**県民みんなでチャレンジ！**

○ 目指す社会を実現するためには、県民一人ひとりが自分事としてとらえ、家庭・地域が当事者としてそれぞれの役割を果たしながら前向きに取り組むことが大切。

● 子どもたちへ

- ・地域や社会で色々な人と交流する
- ・学ぶ楽しさや意味を知る
- ・失敗を恐れず、様々なことをやってみる
- ・自分を大切にするとともに、他者を尊重する など

● 保護者、家庭の皆様へ

- ・家庭は子どもの学びや社会性を育む原点となる
- ・子どもが自分で育つ力を信じ、遠くから見守りながら困った時は手を差し伸べる
- ・家庭は子どもが安らげる場所となる など

● 地域、企業・NPOの皆様へ

- ・画一的な学びから個別最適な学びへの変化を認識する
- ・学びの場は学校以外に広がり、地域や企業、社会全体が主体的に参画し提案する
- ・子どもの健康や成長を見守る など

第7次山形県教育振興計画（素案）概要版②

<計画期間；令和7年度から概ね10年間（方針以下は5年間）>

【県民みんなでチャレンジ！】 目標の実現に向けて、4つの重点的取組みを「県民みんなでチャレンジ！」として掲げ、県民の皆さんと共に取り組んでいきます。

チャレンジ1 体験

ワクワク無限大

具体的な場面

- 自然体験や宿泊体験
- 文化芸術・スポーツ体験
- 職場体験やインターンシップ
- ボランティア活動
- 海外交流・多文化交流
- 地域行事
- など

子どもたち

- ・ワクワク、ドキドキ、感動を実感する
- ・失敗も前向きにとらえ、再チャレンジする

家庭

- ・子どもと一緒に挑戦し、一緒に楽しむ
- ・子どもたちを様々な体験に送り出す

地域の大人

- ・リアルな体験の機会を提供、誘導する
- ・多様な体験に挑戦し、得たものを子どもに還元する

ワクワク体験施策パッケージ

- 子どもへ多様な体験の提供
 - ・自然体験や多文化交流、スポーツ・文化芸術体験等、多様な体験活動等の提供
- 家庭への体験参加支援
 - ・親子での自然観察や野外活動等、体験活動の充実
- 企業への支援
 - ・教育活動への協力企業認証制度の創設等、インセンティブの付与

チャレンジ2 探究

「なんで？」を大切に

具体的な場面

- 地域の課題解決活動
- 文化芸術体験
- 幼児の遊び
- 部活動やスポーツ活動
- ものづくり体験
- SDGsへの取り組み
- 授業や家庭学習
- など

子どもたち

- ・興味のあることにのめりこみ、調べる
- ・当たり前を「なんでだろう？」と考える

家庭

- ・子どもと一緒に調べたり、深く考えたりする
- ・子どもの試行錯誤を見守り、支える

地域の大人

- ・探究の機会、必要な情報や資機材を提供する
- ・交流等の中で、子どもたちと一緒に学ぶ

なぜなぜ探究施策パッケージ

- 子どもたちの探究心の醸成
 - ・探究学習やSTEAM教育の拡大
 - ・企業・団体等との連携・協働による地域の課題解決
- 家庭の探究学習への理解促進
 - ・探究学習の意義・実践等に関する情報の発信
- 企業や大学との連携
 - ・探究学習や起業体験活動等のサポートを行う大学との協定締結

チャレンジ3 尊重

みんなが主役で応援団

具体的な場面

- 家族等とのコミュニケーション
- 生徒会活動などの自主的な活動
- 支援を要する人たちとのふれあい
- 人権教育や道徳の授業
- 異年齢の人との交流
- 多文化交流
- など

子どもたち

- ・自分の思いや考えを大切に自己決定し、行動する
- ・相手を大切に考えながらコミュニケーションをする

家庭

- ・子どもの話を聞き、一緒に悩み考え、成長する
- ・成長を実感し、つまづきを正しく受け止める声掛けをする

地域の大人

- ・様々な事情により支援を要する人を支える環境を作る
- ・子どもの模範となりながら心身の成長を支える

多様性尊重施策パッケージ

- 子どもの多様性の尊重
 - ・多文化共生に関する学習の充実
 - ・夜間中学の設置検討、特別支援教育の推進
- 家庭教育等への支援
 - ・子育ての悩みや家庭教育について相談できる機会の提供
- 地域の取組みへの支援
 - ・地域学校協働活動の推進
 - ・フリースクール等民間団体との連携

チャレンジ4 協働

みんな笑顔で

具体的な場面

- 地域の課題解決活動
- 防災への取組み
- 運動会などの学校行事
- 地域学校協働活動
- ボランティア活動
- 地域の伝統や文化的な行事
- など

子どもたち

- ・地域イベントやボランティアに積極的に参加する
- ・楽しみながら、これまでの学びや経験を活かす

家庭

- ・地域活動などに参加し、活き活きとした姿を見せる
- ・家庭の手伝いなど、役割をもたせる

地域の大人

- ・地域活動に子どもたちの意見を取り入れる
- ・活動の中で、自分の良さや得意分野を最大限活かす

みんな笑顔施策パッケージ

- 子どもが協働する機会の創出
 - ・企業・団体等と連携したボランティア等体験機会の充実
- 家庭との協働
 - ・PTA等による学校・家庭・地域の協働活動への支援
- 地域との協働
 - ・協力人材・企業等とのマッチング
 - ・防災への取組みの推進

チャレンジを支えるもの

【教育DX】

- 教育データのクラウド化
- 教育データの分析・活用
- 教育情報ネットワークの高速化
- 遠隔教育の展開
- など

【教育環境】

- 教員等の指導体制の充実
- 時代の変化に対応した学校施設設備の整備
- 学校安全の推進
- など

【主な施策等】

◆ 方針 I 一人ひとりが自分らしく可能性にチャレンジできる学びを実現する

アクション 1 自ら考え、主体的に行動する力を育む

- 様々な体験を通し自分の興味関心を見つけ、行動する経験を積み重ねることで、主体的に学び続ける

1 確かな学力の育成

(1) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

- ・ 学習指導要領の資質・能力の確実な育成に向けた授業改善の促進
- ・ 一人1台端末の活用や自ら学びを進める学習の展開、異学年共同の学習等、児童生徒の多様性を尊重した学びの展開
- ・ 研修会の実施及び好事例の情報発信等、教員の指導力向上の推進
- ・ 全国学力学習状況調査等のデータの分析及び各市町村等への支援策の提供等、学力向上の取組みの推進

(2) 探究学習の拡大

- ・ 情報収集、整理分析やまとめ・発表の場面におけるICTの効果的な活用の推進
- ・ 地域の人材、企業やNPO等との連携等による地域に根ざした学習の推進
- ・ 大学教授や先進校教員を招聘した研修会の開催、探究学習の意義や実践事例の情報発信等、教員・保護者等の理解促進
- ・ 学校種を越えて互いに学び合う機会の推進等、探究学習の県全体への展開

(3) 個に応じた指導や支援の充実

- ・ 少人数やチームティーチング等、児童生徒に合わせたきめ細かな指導の充実
- ・ 多様化する教育課題等を踏まえた「教育山形『さんさん』プラン」の今後の在り方の検討

(4) 幼児教育の推進

- ・ 幼児教育と小学校以降の教育の円滑な接続の推進
- ・ 幼児教育センターの設置検討、幼児教育の進め方等の研修会等の実施

(5) 高等教育の充実

- ・ 県立高等教育機関における地域のニーズに対応した専門知識と専門技術を有する人材の育成

2 キャリア教育の充実

(1) 社会的・職業的自立に向けた資質・能力の育成

- ・ 学習や活動を記録するキャリア・パスポートの活用等による、学びと自己の将来とのつながりを見通す力の育成

(2) 職業実践力の育成

- ・ 地元企業や大学等と連携した職場体験・インターンシップの実施
- ・ 県内の各分野で活躍するスペシャリストによる講話等の実施

(3) 県内で活躍する人材の育成

- ・ 県内大学等と連携したセミナーの開催等による県内大学への進学への促進
- ・ 地域企業と連携したセミナーの開催や企業見学の実施等、県内就業の促進

アクション 2 新たな価値を創造する力を育む

- 時代の変化を敏感にとらえ、自由な発想で果敢に挑戦し、失敗しても諦めずに創意工夫する

3 グローバル社会の人材育成

(1) 外国語教育の充実

- ・ ICTの効果的な活用等、コミュニケーション力を高める英語学習の推進
- ・ ALTや地域に在住する外国人等の積極的な活用等による学習の充実
- ・ 中高の英語教員の相互授業参観や意見交換等による学校種間の系統的・継続的な英語教育の推進

(2) 多文化共生に関する学習の展開

- ・ 道徳や総合的な学習・探究の時間等における、他国文化の尊重、国際的視野に立った世界平和等の学習の展開
- ・ 外部団体等との連携等による県内大学の留学生や地域に在住する外国人の方々等との交流機会の拡大

(3) 海外体験学習の推進

- ・ 高校生が海外の高等学校を訪問し交流する取組みの展開

(4) ICTを活用した海外との交流の拡大

- ・ オンラインによる外国人講師との英会話体験等、多様な文化に触れる機会の創出
- ・ 県内の高校と海外の学校とのマッチングの支援等による交流機会のさらなる創出

4 イノベーションを担う人材育成

(1) STEAM教育の充実

- ・ 教科等横断的な学習の充実
- ・ SSH指定校における大学や企業との連携等による高度な理数教育の推進

(2) 起業家教育（アントレプレナーシップ教育）の展開

- ・ 大学や地元企業等と連携し起業のノウハウを学び実際に起業する体験活動等の推進

アクション 3 互いを尊重し前向きに生きる心と体を育む

- 豊かな心、健やかな体を育み、互いを尊重し、社会の一員として自分の意志を持ち前向きに行動する

5 豊かな心の育成

(1) 体験学習の充実

- ・ 子どもの学びに貢献する意欲のある企業や団体等との連携・協働による、子どもの体験機会の提供
- ・ 情報共有サイトでの企業等の支援内容の紹介等による学校やPTA等での体験活動の促進

(2) 感性や郷土愛の育成

- ・ 郷土の魅力を知るための情報サイトのコンテンツの充実等による情報発信の展開

(3) 道徳教育・人権教育の充実

- ・ 地域の実態や課題に応じた道徳教育や人権教育の実践事例等の情報発信の展開

(4) いじめへの対応等、生徒指導の充実

- ・ 「居場所づくり」「絆づくり」の取組みやアンケートの実施等、未然防止・早期発見等の促進
- ・ スクールカウンセラー等の外部専門家とのチームを構成する等、組織的かつ迅速な相談や対応の展開

(5) 読書活動の充実

- ・ 県立図書館と民間団体等との連携による読書ツール等の展示会や利活用体験等、多様な読書活動の普及促進

(6) 地域活動・ボランティア活動の充実

- ・ 地域の企業・団体等と連携した地域活動・ボランティアの体験機会の充実

第7次山形県教育振興計画（素案）概要版④

<計画期間；令和7年度から概ね10年間（方針以下は5年間）>

6 健やかな体の育成

(1) 健康や食に関する教育の推進

- ・ 小・中学校等における学校給食を活用した実践的な食育の推進
- ・ 専門医や関係機関等との連携による学校及び地域全体での健康増進等の推進体制の整備
- ・ 現代的な健康課題についての指導者向け研修会の実施

(2) 運動やスポーツに親しむ資質・能力の育成

- ・ 優れた体育授業の実践等を共有するプラットフォームの作成等による体育授業の充実
- ・ 運動部活動を通じた心身の健康の増進や運動やスポーツへの多様な関わりができる態度の育成

7 社会に参画する当事者意識の醸成

(1) 児童生徒の意見に基づく活動・取組みの推進

- ・ 児童生徒に関するルール決定や見直し等の場面における、児童生徒の意見の反映の促進
- ・ 各種会議や研修会等を通じた、子ども基本法の趣旨、地域の取組みの好事例等の周知展開

(2) 社会課題の解決に向けた資質・能力の育成

- ・ 家庭や地域、市民団体等との連携によるSDGsをテーマとした環境教育の推進
- ・ ハザードマップ確認や災害時の備えの確認、避難訓練等、自ら判断し行動する資質・能力を育成する防災教育の推進
- ・ 青少年教育施設での野外活動等を通じた困難な状況等における自分の身を守り、互いに助け合う意識の醸成

(3) 主権者教育・消費者教育の推進

- ・ 小・中学校等の社会科や家庭科、高等学校の「公共」「家庭」等における、法令等の学習の展開
- ・ 関係機関との連携による体験的・実践的な取組みの実践

9 様々な事情を持つ子どもへの対応

(1) 不登校対策と不登校児童生徒への対応

- ・ 学校における「居場所づくり」「絆づくり」の取組み等、未然防止の促進
- ・ 一人1台端末の活用やスクールカウンセラーの活用等、早期発見・早期対応の促進
- ・ ICTの効果的な活用による不登校児童生徒の状況に応じた支援の充実
- ・ フリースクール等の民間団体との連携や学びの多様な化学校の設置推進等、不登校児童生徒の学びの機会の確保
- ・ 不登校支援ハンドブックの周知等による保護者等の理解促進

(2) 家庭の事情等により学業に影響が生じている子どもへの対応

- ・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関と一体となった継続支援
- ・ 政府の制度も活用しながら、経済的困難を抱える家庭等に対する就学支援・援助
- ・ 高等学校への再入学時の授業料負担軽減等、高等学校等の中途退学者の学び直しの支援

(3) 外国人の子どもへの対応

- ・ 学校生活への適応や日本語の習得等に向け、市町村と連携し実態やニーズに即した指導・支援の展開

アクション 5 生涯にわたり学びやスポーツ・文化芸術活動を楽しむ

- 人生100年時代を見据え、学校だけでなく地域や企業、社会全体で、大人も子どもも多様な人と一緒に生涯学び、それを社会の中で生かす学びのサイクルを実現する

10 生涯学び、活躍できる環境整備

(1) 働きながら生涯学べる環境の整備

- ・ 山形県生涯学習センター等関係機関における多様な学びの機会の提供
- ・ 県内の生涯学習・文化関連の講座やイベント情報等を発信するコンテンツの充実
- ・ 学齢を過ぎた義務教育未修了者、外国籍の人等、多様な人たちの学びの機会となる夜間中学の設置検討

(2) 文化芸術の振興

- ・ 伝承活動のアーカイブス化等、地域文化活動等の保存・継承
- ・ 民俗芸能等の伝承活動に取り組む学校や地域の活動を後押しする出前講座や研修会の実施

11 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進

(1) 社会教育機関の活性化

- ・ 少年の自然の家、青年の家における親子自然体験や多様な講座の開催等、体験活動や魅力あるイベントの実施
- ・ 県立図書館における県民の知的活動を支えるとともに賑わいの拠点となる取組みの推進
- ・ 県立博物館におけるデジタルコンテンツを活用した情報発信、展示・企画の充実

(2) 社会教育人材の養成

- ・ 社会教育主事講習の受講促進及び生涯教育・社会教育関係者のニーズに即した研修等の実施

12 スポーツ・文化芸術体験を通じた心身の育成

(1) 豊かなスポーツライフの実現

- ・ 県民スポーツフェスティバル等の開催や総合型地域スポーツクラブ（総合型クラブ）の運営支援等、スポーツに親しみ、楽しむ機会の創出
- ・ 熱中症対策の情報発信やハラスメントの根絶等の研修会等、スポーツ実施者の安全・安心の確保の推進

(2) アスリートの発掘・育成

- ・ 「YAMAGATA ドリームキッズ」等による人材発掘・育成及び指導者の研修会等による指導力の向上

(3) 文化芸術活動の推進

- ・ 文化芸術団体等との連携による地域の文化を鑑賞・体験する機会の創出
- ・ 山形県総合文化芸術館の規模や機能を活かした県民が魅力を感じる事業の展開

◆ 方針 II 誰一人取り残されず、誰もが続けられる学びの機会を充実する

アクション 4 それぞれの個性を活かし尊重した学びを実現する

- 一人ひとりが違うことを前提に、多様な他者との交流による学び合いを進めそれぞれの可能性を引き出していく

8 特別支援教育の推進

(1) インクルーシブ教育システムの推進

- ・ 学校行事やクラブ活動等における、特別支援学校等と小中学校等が連携した共同学習等の展開
- ・ 個別の教育支援計画の作成と進級、進学時の確実な引継ぎの推進
- ・ 関係機関との連携による就学前から社会参加まで切れ目なく支援する体制の構築
- ・ 特別支援学校の巡回相談による小中高等学校等における校内支援体制の充実
- ・ 特別支援教育の専門家等を活用した通級による指導の推進
- ・ 児童生徒一人ひとりの状況に応じたICTの効果的な活用の推進
- ・ 特別支援学校の施設設備の充実

(2) 自立と社会参加に向けた支援の充実

- ・ 一人ひとりの能力、適性や発達段階に応じた系統的・継続的なキャリア教育の展開
- ・ 県内4地区の就労支援コーディネーターによる就労支援の充実

(3) 医療的ケア児支援の促進

- ・ 特別支援学校及び小・中学校等における医療的ケアに係る支援の充実と理解推進

◆方針Ⅲ 社会の変化に対応した学びの環境を整える

アクション6 教育DXを実現する

- ICTの活用が日常化し、学ぶ場所を自由に選び、教育データを活用して、リアルな体験と組み合わせた一人ひとりにあった充実した学びを実現する

13 デジタル人材の育成とICTの活用

- 児童生徒のICT活用力の育成
 - ICT教育推進拠点校による実践事例の周知等、児童生徒の一人1台端末の活用の促進
 - 教員対象の研修会の実施や指導に関する先進事例の情報発信等、教員のICT活用による指導力向上の促進
- AIの活用
 - 教育分野に特化したAIサービスに関する研究の推進
 - 授業や校務での生成AI活用の事例の共有や教員のAIリテラシー向上のための研修会の展開
- 遠隔教育の推進
 - 他校との合同による協働的な学びや生徒の習熟に応じた学習の機会の創出
 - 高等学校における年間を通じた遠隔教育の推進と必要な機器の整備推進
- 教育データの分析・活用の促進
 - 複数の教育データを活用し、県立学校のDX化の促進
 - ICT教育推進拠点校等による実践事例の周知等、教育データの利活用の充実

14 ICT環境の整備

- ICT設備等の充実
 - GIGAスクール構想に基づく一人1台端末の更新等、機器・設備の整備推進
 - 教育情報ネットワークの統合・高速化及び教育データのクラウド化の推進
- ICTの運用支援の充実
 - GIGAスクール運営支援センターや外部人材を活用したICTに関する支援の推進
- 社会教育分野でのデジタル化の推進
 - 博物館における収蔵資料等のデジタル・アーカイブ化やデジタルコンテンツを活用した展示・企画の充実
 - 県立図書館における電子書籍の充実等、非来館型の図書館サービスの向上

アクション7 活力あふれる学校を実現する

- 家庭や地域と役割分担しながら、外部人材の活用等により、教員が余裕と余白を持つとともに、子どもが前向きに挑戦できる環境をつくる

15 指導体制の強化

- 働き方改革の推進
 - 「働き方改革チェックシート」を活用した自己評価の実施等、教員の働き方への意識改革の促進
 - メンタル不調の未然防止のための研修や相談事業等、メンタルヘルス対策の充実
- 教員の養成・確保の推進
 - 県内の教員養成課程を有する大学との連携による教員養成の推進
 - 大学推薦特別選考等、教員確保に向けた取組みの推進
 - 大卒新採教員等への人員加配による空き時間の確保等、負担軽減に向けた支援の実施
 - 代替教員と教員業務支援をはじめとする支援スタッフ等の配置及び人材発掘及びマッチングの促進
- 教員研修の充実
 - 教員研修履歴システムの活用や、管理職との研修に関する対話・面談等による教員の主体的な学びの促進
 - 各種教員研修のオンライン化やオンデマンド型講座の開設等、教員の研修参加環境の充実

16 教育環境の整備

- 県立高等学校の特色化
 - 地域の状況等を踏まえた、特色ある学校や学科等の配置
 - 県立高校の特色や強みの効果的な情報発信等、訴求力のある多様な広報戦略の展開
 - バスツアーの実施等による学校及び地域の魅力発信等、県立小規模高等学校への県外生の受入れ推進
- 計画的な学校施設等の整備
 - 長寿命化計画に基づく早期保全による施設の長寿命化の推進
 - 新築・改築等の機会をとらえた再生可能エネルギーの導入及び建物の木造・木質化等の実施
 - 高等学校の特別教室等への計画的な冷房設備の整備及びトイレの洋式化の推進
- 私立学校の振興
 - 私立学校の経営環境や政府の動向を踏まえた私学助成の展開

17 児童生徒等の安全確保

- 安全教育の推進
 - 地域や校内の安全マップづくり、AED実習等、経験に基づく学習や体験的な学習の推進
 - 火災、地震、大雨、不審者対応、弾道ミサイル発射対応等、様々なケースを想定した避難訓練の展開
 - 地域の実情に応じた災害の備えの確認等、地域の関係機関との連携の推進
 - 学校安全指導者研修会の開催等による教員の防災に関する指導力の向上
- 学校安全の推進
 - 危機管理マニュアルや学校安全計画の検証・更新等、学校の安全管理体制の推進
 - 児童生徒の安全確保に必要な知識や危機管理の事例の研修等、教員の資質向上の推進
 - 地域学校安全指導員の配置等、学校・家庭・地域の連携による学校安全体制の強化

アクション8 家庭や地域と一体となって子どもの学びを支える

- 子どもも大人も、学校の中でも外でも、自分の学びたいように学べる場や学べる選択肢を社会全体で協働し支えていく

18 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上

- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
 - 地域学校協働活動推進員等を対象とした研修会の開催
 - 教職員等を対象とした研修会の実施によるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の理解の促進
 - P.T.A等の社会教育団体による学校・家庭・地域の協働活動への支援
- 家庭教育支援の充実
 - 家庭教育講座や研修会の開催、ホームページやSNSでの情報提供による子育ての悩みや家庭教育について相談できる機会の提供等、保護者への支援及び家庭教育支援者の育成
 - 「やまがた子育て5か条」リーフレットの周知による子どもの生活習慣に関する理解促進
- 地域と一体となった県立高等学校の活性化
 - 産業界等との連携推進による農業、福祉や観光等、地域全体を学びのフィールドとした教育活動の展開
 - 地域のニーズを踏まえた教育課程の開発や産業界との連携による産業系高等学校の教育の充実
 - コミュニティ・スクールの活性化等、市町村と連携した高等学校の魅力化推進

19 NPO・企業・大学・地域団体等との連携・協働

- 学校等と企業等との連携促進
 - 学校等と企業等をつなぐ情報共有サイトにおける企業の支援内容等、情報提供の展開
 - 教育活動への協力企業認証制度等、インセンティブ付与制度の創設
- 高等教育機関、自治体及び企業等との連携
 - 「やまがた社会共創プラットフォーム」への参画による地域人材育成等の推進